週　報

関係者各位

令和8年10月30日
南部保健所
（TEL：889-6591）

感染症の流行・発生状況について
2026年第43週(10月19日～10月25日)診断分

● 県全体の警報・注意報

警報	インフルエンザ
注意報	

● 各保健所の警報レベル・注意報レベル

警報レベル	注意報レベル
南部：インフルエンザ 那覇市・中部・八重山：インフルエンザ	宮古：インフルエンザ

● 2026年第43週 南部保健所管内の全数報告について　※先週までの訂正追加報告も含む

《二類感染症》 ・結核：2件	

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

1）インフルエンザ
厚生労働省が令和8年第34週においてインフルエンザの報告数が定点あたり流行開始の目安である1.00を上回り、流行入りしたと発表がありました。沖縄県全体では第36週で今シーズン初の注意報が発令されましが、第39週で警報レベルの定点あたり30（県全体定点42.50人）を超え今シーズン初の警報が発令されました。南部保健所管内においては第35週から県内でいち早く注意報発令され、第39週から警報発令となり、第43週においても定点あたり18.17人（報告数218人）で引き続き警報が発令中です。
インフルエンザの感染防止には「手洗い」「咳エチケット」「換気」「予防接種」が有効です。予防接種については各市町村の情報をご参照ください。

https://www.pref.okinawa.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005861/1006385/1006388.html

2）感染性胃腸炎（特にノロウイルス）に要注意！
感染性胃腸炎は細菌・ウイルスなど多様な病原体による消化器感染症の総称です。南部管内では毎週約50件（小児定点報告）の報告があります。中でも、ノロウイルスは感染性胃腸炎の主な病原体です。感染力が強く、冬場に多発しますが、日本では年中発生しています。主な感染経路は病原体に汚染された食品の摂取による経口感染、感染した調理従事者によって汚染された食品の喫食、感染者の吐物や排泄物から飛散したノロウイルスを取り込むことで感染します。潜伏期間は1～2日程度で、吐気・嘔吐・下痢を主徴とする胃腸炎症状で、腹痛・頭痛・発熱を伴うこともあります。特異な治療法はなく、対症療法が中心です。アルコール消毒では死滅しないため、次亜塩素酸ナトリウムや熱による消毒・処理が必要です。また、丁寧な手洗いが必須です。

3）レプトスピラ症に注意！
南部管内で第36週（9月）頃から4例のレプトスピラ症の発生報告があります。
沖縄県の事例の多くは主に河川等でのレジャーによる感染であるため、以下の点に留意してください。特に雨天後の河川では、汚染された土壌が流れ込むため注意が必要です。
（1）皮膚に傷がある場合は、河川や滝での遊泳を控える。
（2）河川や滝などの生水はそのまま飲まない。
（3）河川や滝で遊泳する際は、ラッシュガードなどで肌を覆い、露出を控え、ゴーグルなどで目を保護する。
また、河川での遊泳や農作業の後や、ネズミやイノシシを捕獲した後、3日～14日以内に突然の頭痛、発熱、筋肉痛の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診してください。その際には活動状況を医師に伝えることが、レプトスピラ症の診断のため重要です。

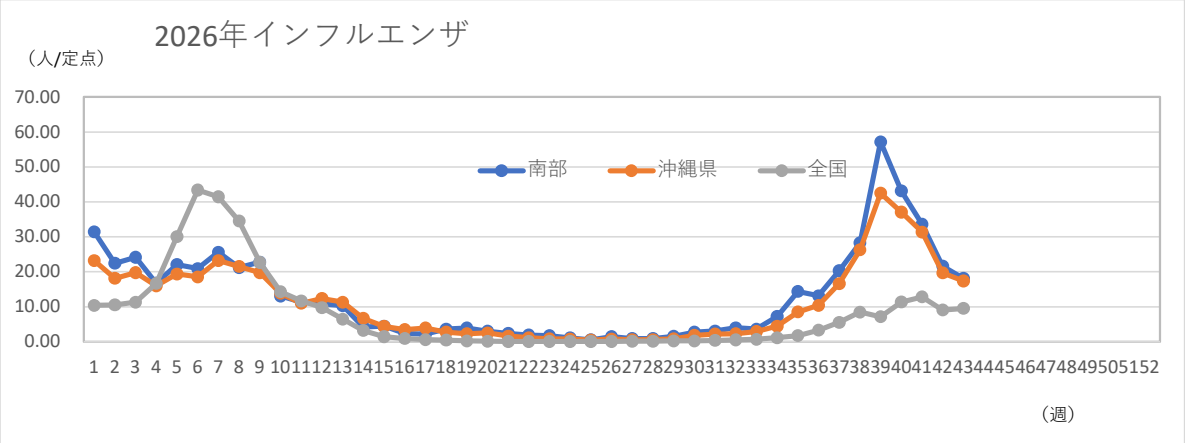
3）麻しん（はしか）
県内では今年2例の麻しんの報告がありました。
全国的に麻しんが発生しております。旅行先の感染状況を把握しましょう。自身のワクチン接種回数を確認し、MRワクチン定期接種年齢のお子様（1歳、小学校入学前の1年間）は早めに接種しましょう。

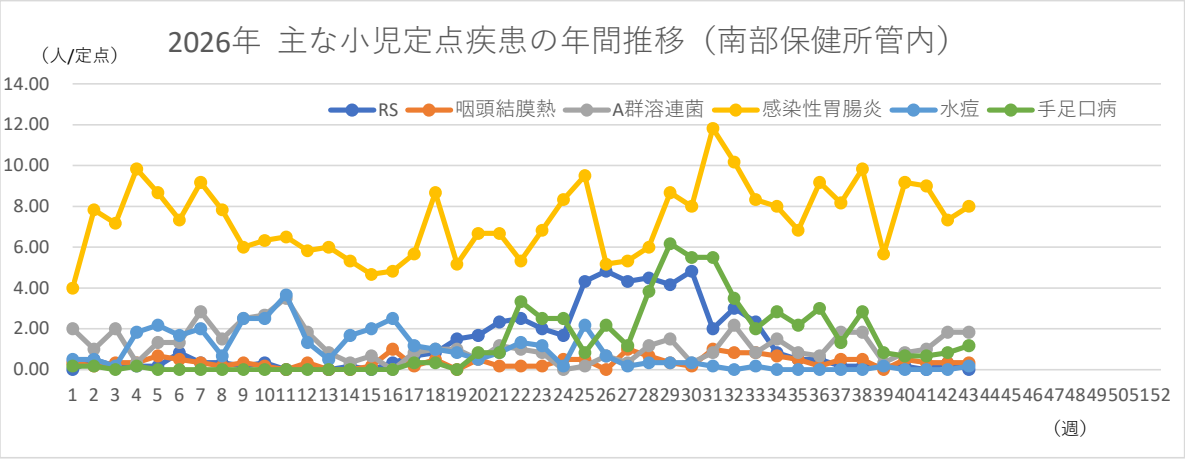
発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」（#7119 若しくは 098-866-7119）へご相談ください。

疾病名	定点区分	沖縄県全体報告数 40週 9/28	41週 10/5	42週 10/12	43週 10/19	43週（定点あたり報告数）	南部保健所管内報告数 40週 9/28	41週 10/5	42週 10/12	43週 10/19	43週（定点あたり報告数）
インフルエンザ	インフルエンザ	1631	1379	866	765	(17.39)	518	403	259	218	(18.17)
咽頭結膜熱	小児科	10	6	7	5	(0.21)	3	2	2	2	(0.33)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	18	24	21	23	(0.96)	5	6	11	11	(1.83)
感染性胃腸炎	小児科	115	106	98	101	(4.21)	55	54	44	48	(8.00)
水痘	小児科	3	1	5	4	(0.17)	0	0	0	1	(0.17)
手足口病	小児科	31	24	23	25	(1.04)	4	4	5	7	(1.17)
伝染性紅斑	小児科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
突発性発疹	小児科	6	11	6	5	(0.21)	1	3	2	4	(0.67)
ヘルパンギーナ	小児科	15	13	2	3	(0.13)	9	6	1	2	(0.33)
流行性耳下腺炎	小児科	3	5	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	20	15	24	21	(2.33)	13	11	14	17	(5.67)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	0	0	2	1	(0.14)	0	0	0	1	(1.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	0	0	2	(0.29)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	5	4	5	0	(0.00)	1	0	2	0	(0.00)
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	56	49	42	29	(0.66)	16	19	21	14	(1.17)

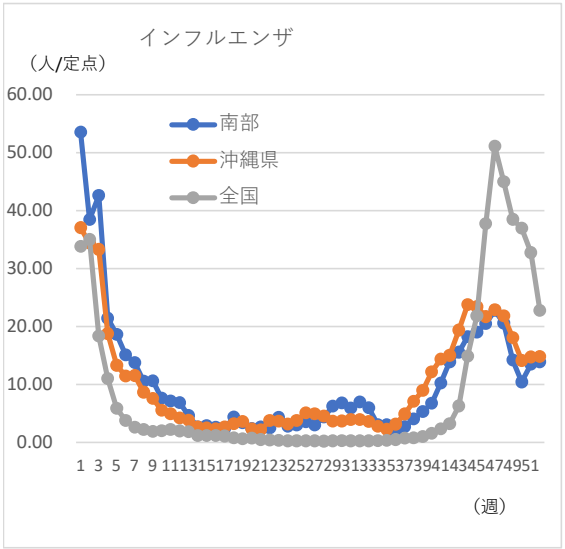
警報
注意報

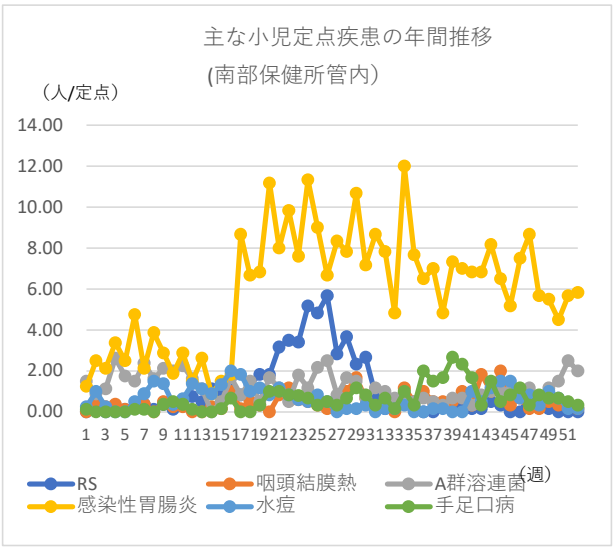
※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。





【参考】2025年　感染症動向調査年間推移（インフルエンザ・主な小児定点疾患）





【2026年 第42週　南部管内集団発生状況】

介護施設	1	件
障がい者施設	0	件
医療機関	0	件
保育園・学校等	4	件